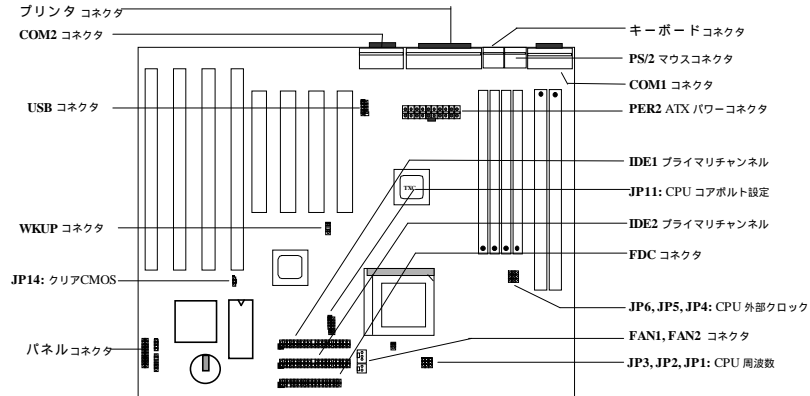


クイックインストールガイド

AOpen's AX5T マザーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当ガイドは、マザーボードのシステムへのインストール方法を説明します。以下の図は、マザーボード上のジャンパー及びコネクタの位置を表します。



AX5T-3 は以下のような特別機能がたくさん用意されています。

ハードドライブへのサスペンド この機能は、作業中のファイルをハードディスクに保存し、すぐに作業を再開します。

モデムウェイクアップ この機能は、システムの電源を完全に切っている状態で電話がかかると、システム電源を自動的に入れ、データ通信などに応答することができます。

過電流保護 3.3V 10A及びCPU Vコア 15A 電流超過保護は、事故的に発生するショートを防止します。

CPU高温保護 CPUの温度が定められた温度よりも高くなると警告します。

CPUファン監視機能 システムはCPUファンの機能不全に対し、CPUのオーバーヒートを防ぐよう警告します。

システム電圧監視機能 この機能は、システムで使用されている電圧を常に関しします。

スイッチング・レギュレータ より高効率なCPU用のスイッチング・レギュレータです。

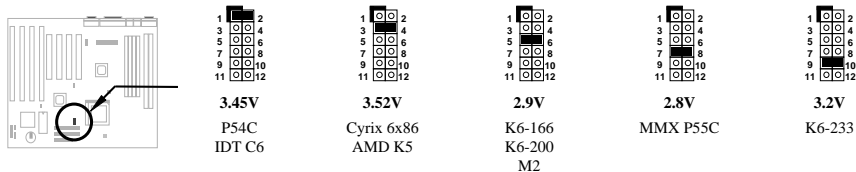
75/83.3Mhz外部クロック AX5Tは、75/83.3Mhz外部クロックをサポートしています。この機能を利用するときは、注意してください。



・：このクイックインストールガイドは参考のために提供されるものです。更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

CPUコア電圧の設定

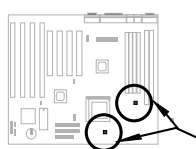
JP11 はCPUコア電圧を選択するために使用されます。



クイックインストールガイド

CPU周波数の設定

JP3、JP2、JP1 は、CPUの周波数を選択するために使用されます。JP6、JP5、JP4は、CPUの外部クロック(バスクロック)を選択するために使用されます。



Intel MMX-166、K6-166、M2-200



Intel MMX-200、K6-200、M2-233



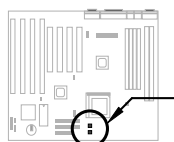
Intel MMX-233、K6-233、M2-266



JP3 JP2 JP1

1 2 3

CPUファンの接続



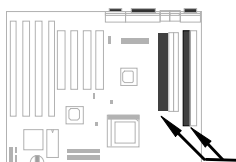
ファンケーブルを、ファンのタイプに合わせて2-ピンのFAN1、または3-pinのFAN2に接続して下さい。ファン監視機能は3-ピンのファンで起動します。これは、3-ピンにはSENSEと呼ばれる特別なピンが付いており、ファンに信号を送る役目を果たすからです。Intel PP/MT-233またはAMD K6-200/233を使用している場合は、CPUが正しくインストールされていることを確認して下さい。上記のCPUタイプは、指定された温度を超えると、システムが正しく作動しない場合があります。



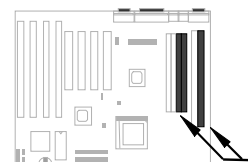
Ex•Fシステム内の空気循環がよくなるように、PP/MT-233またはAMD K6-200/233用に大き目のファンを使用することをお勧めします。適切なファンについては、AOpenのwebサイト (<http://www.aopen.com.tw>) を参照してください。

システムメモリのインストール

このマザーボードには、8MBから256MBまでのシステムメモリをインストールできるよう、4つの72-ピンSIMMと、2つの168-ピンDIMMソケットがあります。但し、ダブルサイドメモリモジュールには規制があります。Bank0またはDIMM1のどちらかにダブルサイドモジュールがある場合、もう片方は空でなければなりません。Bank1とDIMM2にも同様です。



Bank0またはDIMM1のダブルサイドモジュールは、どちらか空であること。



Bank1またはDIMM2のダブルサイドモジュールは、どちらか空であること。

Intel PIIX4チップセットとSeagate HDDのコンパチビリティ

古いSeagate HDDで、Ultra DMAのないものの中には、3.3V PIIX4チップセット(Intel 440LX及び430TX)との対応に問題が生じるものがあります。新しいUltra DMAにはこの様な問題はありませ

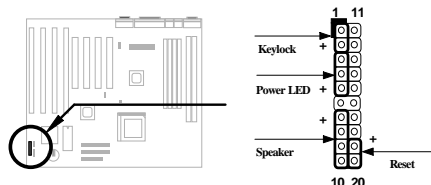


ず。fgf5ラベルとダンパー("3.3V & 5V Interface Compatible"というラベルの表面にある文字)の間のカバーに緑色のラベルがあったら、このHDDはPIIX4のテストがなされており、使用可能という意味です。

クイックインストールガイド

パネルケーブルの接続

パワーLED、キーロック、スピーカーを取り付け、スイッチコネクタを各ピンにリセットして下さい。



BIOS設定の初期値を呼び出す

BIOS設定モードに入るには、POST(パワーオン自己診断)の途中で~~DEL~~を押して下さい。"Load Setup Defaults"を選択することをお勧めします。システムの部品(CPU、DRAM、HDD等)がターボ設定に十分に対応できることが確かな場合を除き、"Load Turbo Defaults"は選択しないで下さい。更に詳しい情報については、ユーザーズマニュアルのBIOSに関する項目をご覧ください。

WIN'95で"?"マークをなくすには

Intelは、"ACPI"、"USB" 及び"Ultra DMA/33"の最新版と共に430TXまたは440LXチップセットを紹介しています。これらのデバイスは非常に新しいため、1995年8月発売のWin95ではサポートしていません。この問題を解決するために、AOpenソはAOchip.exeというユーティリティを開発しました。このユーティリティは、同封されているCDか、または私たちnウェブサイトから入手することができます。大変使いやすく、AOpenのマザーボードだけに使用が限られていないので、全てのTX/LXメインボードとの併用が可能です。このユーティリティを使用するには、aochip.exeディレクトリを実行して下さい。

Ultra DMA/33ドライバのインストール

このドライバは、同封されたCDか、私たちのウェブサイトで入手することができます。また、このプログラムをインストールするためにsetup.exeを実行して下さい。インストールが終わったら、デバイスマネージャに以下が現れます。

- ハードディスクコントローラ
- Intel 82371AB PCI/バスマスターコントローラ
- プライマリバスマスターIDEコントローラ
- セコンドリバスマスターIDEコントローラ



Ex••Eのドライバをインストールすると、ハードディスクへのサスペンドに失敗することがあります。

CPU温度保護

CPUの温度が定められた値よりも高くなると、CPUの速度は自動的に遅くなり、PCスピーカーが音を発します。この機能に関しては、BIOS Setup à Integrated Peripherals à CPU Thermal (Temp.)からMonitorに設定して下さい。また、AOpenソフトウェアチームは、HWMONというユーティリティを開発しました。これは、CPUの温度と電圧の監視を行います。このプログラムは、同封されたCDか、または私たちのウェブページで入手することができます。

モデムウェイクアップ

ATXソフトパワーOn/Offと併用することで、システムを完全にシャットダウンし、データ通信の呼び出し時などに自動的にシステムをスタートさせることができます。この新しいモデムウェイクアップ機能は、外部接続のモデムだけでなく、内蔵モデムにも活用することができます。AX5T及びMP56内部モデムカードは、特別な回路を使ってモデムカードが電源なしでも作動するように設計されています。モデムウェイクアップ機能について、更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

クイックインストールガイド

ハードディスクのサスペンド機能

オプション 1: /fileスイッチを使用(FAT16ファイルシステム応用):

以下のコマンドを使い、ハードディスクへ一時停止する時に、システム状況とメモリイメージを保存しますので、ハードディスクの中のルートディレクトリに隠しファイルを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /file
```

隠しファイルを作成するために十分なHDDスペースがあることを確認して下さい。システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBの場合、少なくとも36MB(32MB+4MB)の連続ハードディスクスペースが必要となります。AOZVHDDがHDDスペースの作成に失敗した場合、MS-DOSやWin95と共に提供されている"DEFRAG"ユーティリティ、または"Disk Defragmenter"を使い、HDDスペースを調整して下さい。

オプション2: /partition スイッチを使用(FAT16/FAT32ファイルシステム応用):

ハードドライブへ一時停止のために、別のパーティションを作成するには、使用可能なパーティションが必要です。メモリ拡張のために十分なパーティションスペースを残しておいて下さい。例えば、システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBで、今後システムメモリを64MBまでアップグレードしたい場合、ディスクユーティリティ(fdisk等)を使い、68MB(64MB+4MB)のスペースを確保しておいて下さい。次に、以下のコマンドを使って一時停止パーティションを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /partition
```

余分なパーティションスペースがなく、データを消去したくない場合は、パーティション方法を使用しないでください。詳しくはユーザーズマニュアルをご覧ください。

システムBIOSの更新方法

BIOSをアップグレードするには、以下の手順で行って下さい。

1. AOpenのウェブサイトから新しいBIOSバイナリファイル入手して下さい。例えば、AX5T150.BIN等です。
2. メモリハンドラー(EMM386等)やデバイスドライバをロードせずに、フロッピーディスクからシステムを起動させて下さい。
3. A:¥> AOFLASH AX5T150.BINを実行して下さい。
4. 新しいBIOSコードを呼び出すと、ユーティリティは本来のBIOSコードをHDDかフロッピーに保存するように警告します。"Y"を押し、"BIOS.OLD"として保存して下さい。
5. 古いBIOSを保存したら、"Y"を押しBIOSを置き換えて下さい。
6. "FLASHING"の際には、コンピュータの電源を切らないで下さい。
7. "FLASHING"の後に電源を切り、コンピュータを再起動させて下さい。
8. POSTの際に"DEL"キーを押して、BIOSセットアップにアクセスして下さい。
9. "BIOS SETUP DEFAULT"を呼び出し、その他の項目を同じように設定し直して下さい。
10. 変更を保存し、BIOSセットアップ終了して下さい。

詳しくは、ユーザーズマニュアルの"BIOSフラッシュユーティリティ"に関する項目をご覧ください。